明治四十三年四月六日（月曜日）第三種郵便物認可 明治四十三年四月六日 第五百七十號 （一）

京城新報

明治四十三年 紀元二千五百七十年
本紙定價 一錢▲一枚金二錢▲一ヶ月前金壱圓▲三ヶ月前金貳圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金 一行一回金五十錢▲五號活字十七字詰一行一回金七十五錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太郎
印刷人 松久神一郎
京城西署四小門通（電話六六三）
發行所 京城新報社

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

內外雜報

（記者）

▲南洋拓殖會社の國庫の所有地開墾の農民中より相當距離あるもの二十名を選拔して、日本の農事狀況を見學せしめんが爲め目下人選中なることは去る三日の紙上に報道した通りである、之れは當局の出來事では無いから、知れぬが必然の要求である、隨て會社が此の事業の爲めに得んとする効果は國社の事業の或部分と密接で關係なるべき關係を有する、然れば僅か二十名の一團体を日本に送り約一箇月間の見學を爲さしひるに要する費用は、資本金一千萬圓といふ大會社の事業としては極微なるものゝ一ぜるべしとは云ふ迄も無い、去り乍ら多額の經費必ずしも重大なる効果を齎らすものでは無い以上、今回の事の如き費用の輕微なる點よりして、其效果を豫期されざる事を會社に要望するのである、所謂に依れば之れが人選は各出張所に於て爲しつゝありとの事だ、最も注意を拂ふべき此點に在る、同社に於ても固より十分の注意を怠らないものと信ずる、とは云へ同社員と雖ども人間である、已れに觀しひる者を萬ひるに念にして人情の機を誤るやうの事があつては折角、爾り折角の好計畫も何等益する處無くして終るべきを虞るゝのである、由來韓人の通弊で日人に親しひ者に二種あるのである、一つは思識の士にして國家の前途を憂慮する赤誠に出づるものと、他は自己の利益を計るには日本人に倚るを便とするより來るものである、爲めに後者は何事にまれ日本人の意に迎合して其歡心を得ることを孜ひる、日本人も亦其意を迎へられて別に惡感を懷すべき筈はない、況して地方に於ては是等翻々たる輕薄者流に依て便宜を得ることもある、隨て日本人は彼等を以て親しひべき好人物と見做す、之れを見たる思慮ある傑士韓人等は先づ日本人は彼等輕薄子を手懸つけて何事を爲さんとするかを疑ひ、次には彼等が日本人に親交あるを觀み多少の橫着を、時には橫暴をさへ逸よすることがあるのを指日本人在るが爲めとして信用の金を起し時事非なりと觀じて力めて日本人を避ける、遂に日本人は彼等排日思想を懷けりと速斷して了ふ、隨て有爲の人物を遇して怪ゐざる例は正に厭といふ程ある、因て想ふに會社出張所にも全然此の弊が無いとは云へまい、否な甚だしからざる迄も又自覺せざる迄も必ず此の弊ありと云ひたい此處だ、此處に深き注意を致さずんば稀に見る同社の好計畫も勞して効無きに終るであらうと云ふのだ、吾輩は又此の機會を利用して地方に深き關係を有する向社に對し平素同樣の注意を怠るなからんことを希望して置く。

交藝 伊曾保物語（一）

エソポが生涯の物語。

之をヤキシモ、プラヌーデといふ人希臘の言葉より巧妙に翻譯せられしものなり

エウローパの內ヲリヤといふ國のトロヤといふ城りの近邊にアモニヤといふ里がれちやる。其里に名をばエソポといふて異形不思議な人體がれちやりたが其時代にエウローパの天下に此人に勝つて醜い者もれりなかつたと聞ねた先づ首は尖り眼は窄う而も出て眸の先は平かに兩の頬は強れ頸は歪み丈は低う横張りに脊は屈み腹は膨れ出て言葉は吃でれちやつた、此等の相を以て醜いと天下無双であつた如く智慧の長けた者も此人に並ぶことはれりなかつた。

或時主人エソポが上を賜はるゝ機は、苦界の飢き成は內證の取扱ひなぞは如何にも收合ふまじいと見ゆればせめて農人の所作をなりとも宛がはうず」と思ひ定め農具を拵へ與へて田畠へ遣るれはエソポも亦憐快氣に其所作を爲農人の所作をなりとも宛がはうず」と思ひ定め農具を拵へ與へて田畠へ遣るれはエソポも亦憐快氣に其所作を爲いた、然れは程經て彼の主人其田はくを見舞に出立たれたれは或百姓上々の蕪柿を持つて來て主人に捧ぐれば色香も一段好うて見事にあつたに由て喜び斜ならずんだ「只今貴殿せうすれども風呂へ入れば其風呂上りの爲に蓄へ置けるとのて傍近う使はるゝ二人の小姓に預け置かれ其身は風呂に入られた。

然る處にエソポ畠より歸り來れば彼柿を預かつた者供思ふ樣は「よい幸ちやいざ彼柿を兩人して取食うて其咎めのあらうする時は口を揃へてエソポにこれを言ひ負せて此方は空嘯ふいて居てあれこそ其蕪柿をば食べたれとはねかけうするに何の行樣もあらうず」と談合して取つて食べした（續）

倫敦の金融引返

政府の豫算が決定せざる結果として金融急に引締り英國銀行をして其日步一朱引上を斷行せしひるに至り倫敦の金融市場も來月五日以後に於ては再び引緩まんとする形勢あり其理由は來月十日には過般發行せられた二千百萬磅の國庫證券全部拂込まるゝ筈なりと雖も同時に當日は市場は鉉に新たに資金の供給を得るが爲めなりと

綿類騰貴の兆候

昨年綿の主產地米國に在りて不作の結果紐育國の綿價に騰貴を來し本邦に於ても今や各種の綿物綿類は數割の高値となりたる當秋に至らば其影波は當韓國にまで波及し貿易上にも影響するなるべく隨て一般需要者に在りても綿類は高價を要するなるべしと云ふ

●太田近況

▲公州鎭路　太田對岸木尺洞內江景街道より分岐し四國幅の道路を一直線に鉢岩に至り近々完成の豫定なり之れが爲め大田川以西は地價の騰貴を告ぐるに至れり▲鑛山有望　忠南黑鉛は元素品質良好の聞ありしか今回某技師の特に調査せる結果は黃鉛產に劣らざる良質なりとの斷定にて人氣引立ちられり▲興業會社の養蠶　韓國興業株式會社大田出張所は柳等面に在りて既に許多の桑園を有し本年蠶室を新築し大飼育の計畫なり▲養蠶傳習所　內田史一氏設立の大田養蠶傳習所は目下傳習生募集中なるが申込者非常に多し▲在鄕軍人會　去る三日大祭日を以て大田在鄕軍人會を組織に決せり▲物價　白米一石十二圓韓白米九圓十錢玄米七圓二十錢大豆六圓四十錢粉一石三圓にて石油米利堅粉金巾綿酒醬油類は他地方と大差なし

日本銘刀傳

第八十三席　法城寺正弘（五）

邑井一講演

折から唐紙押開き「延喜にならぬやうにしてやらう」とヌツと入り來りし人こそあれ、兩人はハツと驚きましたが、れとくは疎遠消ねも入りたき心持ち、何もれとくは自身が好んで幾三郎と通じたといふわけではないので、唯クヨ〳〵思つて病氣になるまでも押隱して居るとは、誠に嫁女はど詰らぬもの、はない、さて唐紙を押開けて入る來りたるものは誰なるかと見定めるとは、敢て幾三郎といふ人ではありませんが、近くの傳人をでもいひませうか、身內も及ばぬ親切者で、始終上總屋の世話萬端をしてくれまする鶴屋の次郎兵衛といふ人で、れ屋敷へれ出入りして、乾分の二百人もあるといふ親分、まづ町內の頭役であります、鶴屋の次郎兵衛は其處へドツかと腰り次「れとくさん病人の樣に萬事に心配しなさんな、オイ鶴さん、店へ何處から注文が來たやうだ、れ客樣だ、子僧ばかりで分るめへから、早く往つてやんなさい」と法石場に慣れて居る次郎兵衛の氣轉、幾三郎を外さして店へやつた後で、れとくと差向ひにて種々とれとくを慰はりつゝ悉皆其の事情を聞取りましたがさて此の幾三郎の身の上をまだ御話しませんでしたが、此の男も因緣のあるものです、まだ吉原が元地の茂町にある時代には、大見世の部に數へられた五屋をいふ妓樓があつたのでございます、詳事に渉るやうでありますが、一寸言つて置きたすのは、三浦屋四郎左衛門の家が吉原では第一古いので、其の次は此の玉屋ださうでございます、一時は隆盛の時代もあつたが幾二郎の爺の代になつて、不幸が續いて法石の奮家の店がスツかりさびれて所詮店が張切れないといふのを、隣家で樂稼問屋をして居る山田屋山三郎といふ人が聞て氣の毒だといつて、金を貸してくれたが、俗にいふ燒石に水といふやうで、僅かの金では仲々足りません、段々と繼登り此山田屋へ借金が出來たので、到頭山田屋さんが玉屋を引取ることになりました、此の玉屋を引取ることに就いては種々長い御話もあるのですが、略して申上げません、そこで番頭代りに、玉屋の長男で、幾三郎の父に當る人をば、其の優店へ座らして、山三郎は迷惑ながら女郎屋を開業することとなりました、夫れですから、今日でも湯の端の守田寶丹方で賣つて居ります奇功紙には山田屋山三郎の名が出て居ります、之れで元玉屋山三郎は鶴稼屋であつたことが分ります、其の店で幾三郎の親父は玉屋の通番頭で死んで了ひました、伜の幾三郎は段々と成長しましたが、恰當明暦三年吉原が浅草へ替地になり、今の新吉原が出來るやうなことになりましたが、幾三郎は商人になりたいといふので、此の玉屋山三郎が自分の地面內で、京橋の五郎兵衛町に住んで居る小間物屋の上總屋長右衛門へ賴んで、山三郎が養元となり商人なりといふので、率公に住つたといふ譯なのです、母一人子一人であるうちに、母が病に罹つて死にましたから、木から落ちた猿同樣で、恰當十三才から廿二才まで此の上總屋で勤め續けをして居たので、一度も失策がないのです、所が昔の奉人の數草にもあります如く、人若き時は之れを戒しひる色にありとかいふ一件から、奥が其の身に逢遇せて來て、過つて主人の女房れとくに思を掛けて、道ならぬことになつたのであります、さて又れとくは幾三郎のために身を汚され、哀れや因果を身に宿して、夫れが心配にてクヨ〳〵するのですから病氣になつた事は前に詳しく述べた通りであります所で近所の手前もあるので、たとくは慰藉の人が種々と親切にいつてくれるものですから、其の氣になりまして下野の鹽原へ湯治に往きました。

醬油屋

廣告

廣告

民事刑事其他事件の鑑定
債權取立契約書案諸會社定款の作成
右迅速確實に依賴者の滿足を旨とし事務取扱候間事件の大小を問はず御來談あれ
京城裁判所前
金澤法律事務所

●女生徒募集
若干名募集す學則入用の方は郵券二錢送附せらるべし
來る四月十一日より授業を開始し各教科は專門の良教師之を擔當す
私立 京城女子技藝學校
園兒募集
●幼兒若干名募集
●保育開始　四月十一日
開勝室遊戯室附添人控室等の設けあり廣い運動場もあります
旭町一丁目〜ルヘー個事務所西
私立 京城幼稚園

●夜學生募集
●英語、國語及漢文、數學の三科目
●四月十一日より授業を開始し毎日午後七時より十時に至る
●就學府中學校の該科教科書に從きて教授す入學希望の方は來校の上承合せらるべし
私立 京城夜學校

●本科各學年及技藝科各學年生徒若干名募集す學則入用の方は郵券二錢送附せらるべし
●來る四月十一日より授業を開始し各教科は專門の良教師之を擔當す
私立 京城女子技藝學校
園兒募集

經濟
即席吸物
無比
●即席吸物は味の素より御手輕で風味善き品なり一包に只煮湯を注げば速席御馳走出來ます
●不意の御來客の時は最も上品な美味輕便の吸物で奥樣始め御親身の御方には至極宜敷料理であります
●論より證據一度御使用の上御試しあらん事を偏に願上ます
一袋十人前入 金十五錢
各日用食料雜貨店に廣賣致します
●御賣出特に御相談に應じます
●御一報次第多少に不拘持參致します
●遠隔の地は御報次第小包で送ります
即席吸物
韓國發賣元 砂本支店
（電話七一二番）

名し道樂

鯛 松たけめし　一人前三十錢
あなご 竹の子めし　たなしくい
鯨 ゐんぎうめし　たなしくい
兼てたなじみの大阪美人、御美麗の程を待ちかねて居ますから、御賞味を賜はりたう、何は多少によらず出前も仕ります、奥々も御用命伏して御願申上げます
大和町三丁目
梅の家貞向ひ
電話七三五番
明月

生儀多年福岡醫科大學皮膚科教室（皮膚病黴毒泌尿生殖器科教室）奉職の處今般辭職左の處に開業專ら皮膚病黴毒癩病膀胱病生殖器泌尿器の診療に從事
診療（午前自八時午前二時迄 午後自五時九時迄）
入院隨意
南大門通三丁目
支那領事館前通
京城郵便局後
佐藤皮膚病院
院主佐藤伊藤

入院隨意
京城壽町三丁目（電話三七八番）
中島醫院
院主醫學得業士 中島貞信

▲賣店御携帯
東京手打
生蕎麥及天麩羅
龍山尋町（電話六〇五番）
羅林庵

入院隨意
內外科
小兒病
梅毒淋病
京城壽町三丁目
院長陸軍軍醫正 高井貞治
高井醫院
電話（二一六）

眼科專門
京城本町一丁目憲兵分遣所前
江頭眼科醫院
前遞城病院眼科部長
醫學得業士 江頭富雄
（電話三三）

水晶篆刻……印章ゴム印
轉居の爲め謹啓を煩し水晶時計さげ（懸鐘）印一千個に限り一字二字刻印材共
大減價金壹圓也
京城明治町（明洞）一丁目七十九番戶
諸官衙御用印舗
金石山房
最上稱堂

シガー、ブドウ酒、ブランティー、洋菓子、果物カン詰類水
シガレット、シャンピン、ウヰスキー、キリンビール、タンサン
洋煙草類金銀屬美術品
直輸入商　二三丁目　京城本町　辻屋　本店電話二四八　支店電話三六六
卸小賣　歐米雜貨洋酒食料品

東京電報

▲**祭祀料の御下賜**　天皇陛下より岩倉公へ五千圓皇后陛下より同じく三千圓の祭祀料を御下賜相成りたり（四日）

▲**中央新聞の大改革**　中央新聞は敬友會の機關紙として原敬氏監督高橋及戚氏社長となり改革を行ふに決せり（同上）

▲**韓國勅使の着京**　岩倉韓太子輔育總裁萬去に就き韓國皇帝及太皇帝より差遣されたる高義誠及李恒九の兩勅使は本日午後新橋着直に韓太子御用邸に伺候せり明六日岩倉公爵家を弔問し型習々傳ふる筈なり（五日）

▲**東拓株の大暴落**　東洋拓殖會社重役の無責無能遺憾なく天下に暴露されたる爲め同會社の株は益々暴落し目下東京株式界に於ける現物取引相場は十六圓五八十錢を唱ふるに至り同株所持者は殆んど投賣の姿なり（同上）

▲**韓國在勤者恩給法**　鐵道院韓國管理局官吏に對する恩給法及遺族扶助料法今五日公布せらる（同上）

北京電報

▲**清宮廷の大變事**　二日夜攝政王醇親王殿下の御用邸内に於て鐵道墜道破壞に用ゆるものらしき數個の爆裂彈を裝置しありしを發見したり曲物は無論革命黨の一派なるべきも或は袁世凱の部下なりとも想像するものあり軍機處は直ちに八方に手を別ちて捜索しつゝあり頗る嚴戒を極め宮邸は之が爲めに一大恐慌を惹起し民心非常の混雑を呈し惶々たり（五日發電）

▲**嫌疑者續々捕縛**　北京宮殿に於ける大椿事に關し嫌疑者として捕縛されたるもの續々あるが如きも當局は堅く秘密に付し居るを以て疑心暗鬼を生じ流說紛々底止する處を知らず（同上）

地方報

各地市場の狀況

一時不穩の暗雲に蔽られし各地市場も昨今に至り漸く靜謐に復する至りしが各道に於ける各市場の最近情況如左

△京畿道江華府內　市場は一時閉商民は鬼角利權獲得のみを目的とするの傾向あるは頗る遺憾とする處なり元來是等の人々は一片の願書を提出すれば直ちに權利を取得し得べきが如く心得漁業地の價値又は所得權利者の有無と問はず情實因緣的に運動を試むる輩のみなり斯かる輩は暴覺醒手僅業の夢想を描けるに起因するが元來職を金治海の一班に法がんか韓人の所有漁業にして有利のもの點からざるを發見し得べし則ち一區年收優に千圓內外の價値あるものとも韓人は三百圓乃至五百圓を以て放賣しつゝあり然れば其に漁業經營の希望を有する人々は新漁區のみに着目せず資本を投じて是等漁業の買收を爲さば有利の基礎に據くを得て相互の利益甚大なるべし資本を投ぜずして事業の多きに達せる事は既報の如くなるが當局某氏の談によれば該出願者の多くは鬼角利權獲得のみを目的とするの傾向あるは頗る遺憾とする處なり元來是等の人々は一片の願書を提出すれば直ちに權利を取得し得べきが如く心得漁業地の價値又は所得權利者の有無と問はず情實因緣的に運動を試むる輩のみなり斯かる輩は暴覺醒手僅業の夢想を描けるに起因するが元來職を金治海の一班に法がんか韓人の所有漁業にして有利のもの點からざるを發見し得べし則ち一區年收優に千圓內外の價値あるものとも韓人は三百圓乃至五百圓を以て放賣しつゝあり然れば其に漁業經營の希望を有する人々は新漁區のみに着目せず資本を投ぜずして

油繪肖像畫●硝子金文字入ペンキ塗工事大廣告清潔

藤野工舍

永業町二丁目 赤門通り 椹野

名妓洗髪のわれ妻（一）

鈴蕉書に化粧品の廣告に其の優名艶麗を利用せられ日本六十余州の津々浦々は申すに及ばず海も日本人の住む程の所に其の名を唄はれさるなき東京花柳界の一名物洗髪のた妻の一代記書人の口から出て所を……

私の半生の話としろと仰言るのですか大変ですね、身の懺悔をするには少し早過ぎますもの、明治七年の生れ雲外取つて舟七歳の女の盛りは過ぎましたた鈴さんではありますが、懺悔告白にや可愛想よ、さう〜何時かれ旅さんがね——**伊藤の御前**横の事ですよ——た妻れぬも余り名を貴て了つたから今更其稼業から故ひ上げる事も出来ないが、れ前も洗髪のれ妻とまで人に呼はれた女だ人間は**死際**が**肝腎**だから、其位析ち果てちや何でも向島は小梅あたりに建てし、れ前は**剣髪姿**、水晶の珠数でも爪繰つて庭には萩薄四季折々の花でも植ゑて余生を清く送つてはと染々と云はれましたが、御前様もヒョンな事になつて了まつた今から考へると此先剣髪のた妻といふ幕は出つこがありませんが、其んな事にもなるなら、私が思ひ切つて話をしやうものなら、腹の下から濕のやうな冷汗を出す人が、さあ、一人二人三人……飲へ切れませんね、夫れはさうとして、云ふわ、話すわ、聞いて下さいね▲名告を上げるも烏滸がましいとでも云ひますかね、私の**産地**は**封州嚴原**で父は土岐守守道に云つた土地の門閥家、朝鮮の代官となつてゐましたさうですが何か政治上の**途**すがら船の中で**暗殺**された人で御座います、母は父にも増して家柄で、藤氏くにと云ふ人で、元は武藤家であつたのが、從五位陸奥守の時に藤と姓を改めました、系譜を手繰つて見ると、其昔小西行長の手の者で働いたが、事志と違たといふやうな歸で謀逆人となつて、封州へ客分として預けられたのですが、其後土地に住附いて藤姓を名乗り、陸奥守と云つた人の娘のくにが前云つた私の生みの母なのですよ、其れこそ何時か去る人の仰言つたやうに、私が**宗の殿様**と**肖てるのには、夫れ〜の因縁**があるのです、と大して名乗を上げて後が藤書林業おや恥しいわね▲夫で私が六歳の時に下谷二長町の封州のた邸へまゐりまして、邸の内で御五年間と いふものは れ様さん育ちに育てられ、十一歳の春國元へ歸り、明けて十二歳に再び上京致しまして、今英和學校の平岩義安さんの弟さんの小田義雄といふ人と一所に、何んでも其當時北海道の鐵道にゐた小田敬中といふ人の家へ夫婦養子に貰はれましたが、其小田義雄といふのが、當時大學出の文學士、脳の呑ね方人で、年は老つてゐるが嬰かの四十幾つでしたが私は十二歳で夫婦養子で貰はれ、十五歳に御婚禮をしましたがからねんねの人形のやうなもの、全く夢現夢中、何が何やら分らぬ御嫁さんでした、程なく義雄とは離縁になる事となりました、夫れが抑も私が今の身の上になる初端、廻れば廻る小車の運命とでも云ひますかね、其間にや煮ても焼いても慢たらぬ憎い〜奴がありますよ

不憫なる田舎娘

▽三度身を賣られんとす

一昨四日俄雨部屋に駆込訴へを爲せる二人の娘あり一人は長崎縣南高來郡北串山村五百六十六番地松尾小一郎二女みや（こ）他の一人は同縣同郡小濱村齋地不詳中村愛太郎長女ゆき（こ）といふものなるが二人は去年七月中郷里に於て兩親とも相議の上宣振作なる者の下女に雇はれ渡韓せしが此奴が抑も善からざる奴にて下女に使ふなどは其赤な偽り成就にて未實といふ飲食店に二人を叩き賣り行衛知れずなりたれば田舎娘の何うする思慮も分別もつかう筈なく遂に强ゐられて賣淫を爲し居る中同年九月永登浦の料理店丸天といふに轉賣され同所でも又云はるしまいに賣淫の辛き稼業も身の爲めで無く心から出た錯でも無しに身を傲はれつし涙の中に半年餘を過ごせしが此頃に至り又しても丸天の亭主は京城に移替へさせんものと二人を伴れて出京し口入屋東洋舎に相談中流石の田舎娘も怯へ愛ねたる末婦なりと然れば警察にも捨て置けずと丸天の亭主を呼出して取調べ承諾書も無きに女でこそあれ田舎娘で栄條より賣買ひするのみか賣淫たるに前記の始末に相違なく親權者の具わ侵害の樣に賣買ひするのみか賣淫までさせるとは以ての外なりと直ちに轉賣の相議を中止せしめ娘二人は其の保護の下に兎に角安心の胸を撫でつゝ此の惨者に就ては法廷に訴へ居れりと

●藪野椋十氏の銅像

▽指の股にかく肥前の產

東京朝日新聞記者藤川玄耳氏として より寧ろ東京見物、上方見物近くは世界見物の著者として聞ゆる注目の藪野椋十氏は近來文壇の名物男なり、其の著書に

▲庇髪と丸髷▼

▲庇髪千代結 庇髪の流行も近來に至り種々變化し來たりたるが先年イカラ向き庇髪專門の新橋の女髪結眞島れ千代が工夫せる結び方は、れ千代の日く、櫛上げ髪を二筋に分け、二回程ねじれる毛の、左の手へ來たものを輪の如く作り、耳くして其毛を下へ向は後ろに餘れる分とを束ね、一とロに云へば クル〜捻きみたる好みと各自の手加減なり。▲同髪飾 廿歳以上なれば鼠色、鳩羽、クリーム、白或は紺の類のリボン調和すべく又た一枚にてタボ及び兩脇に差込び例のリボン櫛あり近來新ダイヤ入りの品漸行すると此庇髪はれ千代の工夫せる銀に「千代結び」と称ぶに至れりと

▲婦人の丸髷 先づ昨今の所にては先年來流行し來れるものとは大差なきが如し丸髷（高尚なもの、粋なもの）高尚向きは一般に髻の形の一をつめたる中高の耳のなきが行なはれ結上りてグット根の上れる、所謂一の字に心持丸みを持つたものにて、從つて山形の厚手なり、大きさは若向きの大一番位の所以下大れに準じたるものと知るべし、粋向にては耳のなき心持厚手とし根を引上てタボ は餘り長く出さぬ樣になり、此粋向きの近頃流行せる髻の根は一寸計り下の所に針にさすが多し 借て髻は高尚向も粋向も等しく中 柴太郎と過ぐる日よりれ安からざる情 変を結ぶに至りしが去る二日兩人手に 手を取りて隨櫻寺を極め込み同日午後 八時四十分頃永登浦にて今しも滋笛の 聲と踏共に釜山に高飛びせんとする處 を巡査に取押へられ逆戻り

●日韓誤解の解決 昨日午前五時頃仁川仲町一丁目酢行商妙山林之助（三）と云ふが内洞の客主李桑善方に至り飯の提供を迫りたる屋人の金東烈（三）と云ふは强髻に來りたるのを誤解し互ひに殴りすがらす腕力競べの最中警官出張双方を說諭の上和解せしと

●警察に滞留 去月末の本紙に山口縣生れの江本とみ（三）といふ淫奔女が下の國の旅人宿福水利平方に嫁き十年も連れ添ひし今日淫奔の氣が激して夫の家を逃出し夫れより云々の成行にて情夫の爲めに龍山北海樓に沈められ居たるを本夫よりの捜索願に依りて龍山署にて取押へたる由を記載せしがとみは去月二十六日より龍山署に留め置かれ本夫が引取に來るを待ち居れるが利平君も聊か考へしと見ゐ一日延に延びて十日餘りとみは警察の御厄介それでも本人至て呑氣なものにて意間は署員の休憩室の片隅に蹲まり酒娃々々として罷在り警察に下宿しては少々勝手惡るしと云ひた氣に見ゆ

●當世流行勘違ひ 仁川京町吉田下宿屋方長崎縣生れの石工木村久太郎（三）及び宮町三丁目熊川太郎吉（三）の兩名は一昨日午後六時頃より寺町二丁目三日月樓にて飲酒し大平樂を謳ひたるが程經て二圓六十五錢の勘定を請求せられ兩人共無一文にて互ひの懐中を當にしての此次第を判明警官の厄介を受けて翌日支拂ふ事にて示談せり

●淫賣婦と民團雇 仁川花町三丁目思君亭の抱酌婦長崎生れの田中みの（二）と云ふは元民團役所雇なる右江の弟太郎と過ぐる日よりれ安からざる情変を結ぶに至りしが去る二日兩人手に手を取りて隨櫻寺を極め込み同日午後八時頃仁川仲町一丁目酢行商妙山林之助（三）と云ふが内洞の客主李桑善方に至り飯の提供を迫りたる屋人の金東烈（三）と云ふは强髻に來りたるのを誤解し互ひに殴りすがらす腕力競べの最中警官出張双方を說諭の上和解せり

●諸國盆踊唱歌評（七）

▽昔流行の唱歌でムる

▽花も實もある優しさ

河内の部

「山家なれども我故郷は しばのいほりも懐かしや」

頭取「何うぞ宜しい樣に願ひます 李」

ホンの事たよのし藤四郎さんや通さんも今ちや東京日本橋は魚がしの若旦那か芝は田町の生れ抜きの如にノすハリ返つて御座るがのし何を隠さう甲州は厳澤の……

藤「其樣に大きな聲を出しなさんな 通」

「真實でげす 李」

田舎者は此れだから困りやすよ

アレ未だアンな事を吐しくさる我が の樣なもんにやア此歌の……

頭取「喧嘩をしては困ります餘興は捨き秀逸と云ふに御異議はありますまい

「人はけいなや咲く花なれと 我は水かげのしほれぐさ」

蚊士「けなりやは義ましとな開東にては聞かず、我は、はわしは方が善しかるべし 藤「我は、で判るのみなら訂正する程の必要はねやナア 藤「……通「……李」

▲長谷川町兵營の軒下を通行して兵士に撲られる人が一日に二三人は屹度ある 厳澤の若旦那 ウフフハフハフハ

▲平民文庫▼

今六日より 大賣出 釘本商店

廣告

弊會社儀開業以來幸に大方諸彦の御眷顧に依り瓦斯引用御申込日に月に增加するの盛況に付ては此際益々御便利を圖ると同時に瓦斯普及の目的を達せんが爲め左の通り改正致候間何卒倍舊御需用被成下度此段奉願上候也

一、引込料は長距離に亘らざる以上は一般無料と致候

二、屋内管工費は從來一孔口に付金三圓なりしを改めて金壹圓五錢と致候

三、器具類は今回最新最便のを仕入れ其定價も從來よりは一二三拾割方安價にて御需用に應候特に熱用に對しては御便利を計り可申候

四、瓦斯原料の石炭は今回試驗の上最良のものを購入し臭氣は少しも無之候

五、近日中に南大門外舊龍山驛に器具販賣及引用申込の取次所を新設し大方の御便利相計り可申候

六、此頃弊會社に御相談なく上向「ランプ」御使用の向も有之哉聞及候右は一應弊會社に御通知置被下度候

七、漏洩其他故障有之候場合には直に泥棒陳列所又は龍山出張所へ御申出被下度候

八、販賣條理及檢査の爲め巡回員を差出候筋は總大となく御申附被下度候

明治四十三年四月 日韓瓦斯電氣株式會社

電話讓受

仕組本人 西小門 シンガー會社 京城支店

廣告

第一六號 公告

一木造瓦葺平家一棟

此建坪七十坪二合三勺

右ハ新町遊廓組合ヨリ當民團立新町健康診斷所用トシテ寄附セラレ候條此段公告ス

明治四十三年四月五日

京城居留民團民長 古城菅堂

●全州財務官々舎其他新築工事

右四月廿五日入札ニ附ス（建築所）

廣告

投機的射倖的行爲と酒色に沈湎する勿れ商交際上破れを生ずる勿れ△六白 快欣の川とて不和衝突及家庭内に少煩累起らんとす△七赤 仕官就職入學門依頼委任に妙實貸借に面白からず△八白 甘言妄言に釣られ易き日とす他は平凡△九紫 面會接見縁約に良好繁昌し吉他は快欣の日とす（本町五丁目三一館料斯）

今日の運勢

四月六日 舊二月廿六日 五黄 先負 辛 丑 納△一白 不利 搬毫多し旅行金談徒勞に帰す新事斷念すべし△二黑 婚姻養子及圓結に吉瑞期せる音信向快事を報ずるあらん△三碧 同連多し金品授受締約談合等不良創業開店凶△四緑 非運の日とす新事効なし移轉談合依頼出願等妙ならず△五黄 勿れ商交際上破れを生ずる勿れ△六白 煩累起らんとす△七赤 仕官就職入學門依頼委任に妙實貸借に面白からず△八白 甘言妄言に釣られ易き日とす他は平凡△九紫 面會接見縁約に良好繁昌し吉他は快欣の日とす（本町五丁目三一館料斯）

●藪野椋十氏の銅像 ▽指の股にかく肥前の產 東京朝日新聞記者藤川玄耳氏として より寧ろ東京見物、上方見物近くは世界見物の著者として聞ゆる注目の藪野椋十氏は近來文壇の名物男なり、其の著書に

●仁川の女湯覗き 仁川寶岡町二丁目の湯屋業池永戸佐吉方浴場の裏口窓子一枚破損し居る處より一昨夜 ●藪柱三吉の逃亡 仁川寺町二丁目 ●藪柱三吉の事津村テル（三）は昨日午前五時頃家人の寝息を窺ひ何れと もなく逃亡せし旨其筋に訴出づ

●藪香朝顔種子の無料分讓 最大輪 ●藪柱三吉の逃亡 仁川寺町二丁目 ●藪柱三吉の事津村テル（三）は昨日午前五時頃家人の寝息を窺ひ何れと もなく逃亡せし旨其筋に訴出づ

●藪香朝顔種子の無料分讓 最大輪 ●藪柱三吉の逃亡 仁川寺町二丁目

●本郷書院叢書 第一 文學士 物集梧水、增本河南君共譯 ●怪雲奇星 ●絶島軍艦 ●人外魔境 ●幽靈旅館 ●海島奇傑 ●奇男兒旅行 ●幽靈怪話 ●北極飛行船 ●熱風猛浪 ●剣光鐵火 ●電力艦隊 ●氷底怪人 ●絶海奇人 ●世界旅行 ●夜叉首 ●水天一髪 ●波濤武人 ●武俠海傑 ●人肉料理 ●沙漠旅行 ●血耶肉耶 ●奇窟怪獄 ●冒險志士 ●貨物旅行 ●八百万弗 ●滑稽句集 ●自治療生活 ●俳句講話集 ●かふき俳句 ●春鳥集 ●花守日記 ●海潮音 ●異本山家集 ●西行論 ●奮笑日記 ●本郷書院 東京市本郷 東京市本郷 東京市本郷

廣告

美術半襟帶締其他紐類各種

京城明治町一丁目 電話一千四百〇九 ゑり德商店

管業品目
洋琴、三味線、尺八
月琴、鐵琴、横笛
三本線張替修繕並に小道具類は特に大勉強
米川三味線店
京城南山町一丁目（郵便ポスト前）

電話一八二番
志ちや
金高の多寡に拘はらず十二分の御便利を圖り迅速御相談に應ず貴物は可嘗に取扱極めて安全に一定の場所に保管す
大槻商行質部
京城南町
流質品を嫌ひ場所の許す限り可成長期間大切に留保し萬遺漏なきを期す

最上醤油
醸造元 三巴醤油醸造場
仁川港
電話七志參番
發賣元 三巴酒店支店
京城本町三丁目
電話五六四番
發賣元 三巴酒店
電話七五三番

弦齋流割烹並に歌舞伎辨當
村料の豊富と技倆の熟練は割烹界に於ける弊店の特色に有之候
京城南山町一丁目
さくら
（電話一五〇二番）
出前の儀は電話又は一報次第即刻持參可爲申候

京城鐘路の喰物は何んたろ！
鐘路軒の
最制所前の洋食店
松茸めしさ
酒一本外和洋料理五品付
一人前六十錢
値が賤くて うまくて はちきれなさい 皆さん一度なら ぜひごらんなさい
又和洋料理和洋食共辨當の注文するとすぐ一つでも持つてくる 極く便利です
電話壹四一九番客用有ます
◎監獄辨當の差入も引受ます◎

米京京災海上運送保險株式會社
明治廿年七月創立 京城代辨店 本町四 山口吳服店 電話九番
資本金一千萬圓 ● 事務所 京城南大門通二 電話一〇六〇番
臨官御御用品御注文

營業科目
和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐デシン
般物食鹽
醋染料類

委託販賣
東京ランバーダ商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
藤田合名會社
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店
東京蓬萊鹽合資會社食鹽特約
本社 京城電話明治二〇三番
出張所 東京地十番 東京十一町目一〇番 鎌倉南橋新電橋三丁目一九六三

本店開業拾五ヶ年祝
弊堂開業後滿十五年今日の隆盛は全く各位御愛顧の賜ものに外ならず深く確信仕候に就き此際「祝意」を表すると共に平素の「御愛顧」に酬ひんが爲め且つ一層販路擴張の目的にて
「タバン懷中時計三千個及び「アンソニヤ」掛置時計三百個」を限り四月一日より九月三十日迄本社の命に依り左記特約店を設直段にて販賣すること相成從つて各位の御便利を計り左記特約店も設置致候間最寄りの店にて顧客の程願上度此段廣告候也 敬白
瑞西タバン懷中時計會社韓國代理店
米國ウオルサム時計韓國特約販賣店
米國アンソニヤ掛時計韓國特約販賣店
仁川本町三丁目（電話七〇五番）
時計卸商 喜多金光堂本店
京城本町二丁目（電話一〇五番）
時計卸小賣 喜多金光堂支店
京城本町一丁目憲兵分遣所前（電話二二八番）
右特約店 金化堂時計舗
京城本町四丁目角
右特約店 中村時計店
各地方より御注文は發送賃費申受候

韓語大成
從來一部一圓五十錢の處今回紙數百余頁を加へ改正增補致候間前記の通り値上候也
京城本町五丁目
釘本藤次郎本店
長電話四五番
振替貯金口座韓國二五六番

値上廣告
一部一圓八十錢

貸席 鐵冷温泉
京城本町一丁目郵便局前
電話千四百十一番

きよめのある温泉湯
此の温泉は左の如き病に最も妙なり
一かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひせん、梅毒、りん
よこね、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、せん
驚胃加答兒、凍傷、がんがさ、其他内用には鐵冷温泉を
用すれば尤も効能あり

京城南山町（元日本人倶樂部）
京城ホテル
長電話一二三番
電話四九二番

東京足袋
正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升
本店東京
京城大和町一丁目（日の出橋際）
大和屋藤井出張店
明治町勸商場内ニモ出張店アリ
電話二百〇五番

開業御披露
今般左記の處に開業致し粹樣方の御來車を待申候
京城本町八丁目横入初音町
待合貸席 松廼家
電話千三百九番

時節柄敷物及夜具等新調仕り室内の設備も相整申候
御客樣に對しては可嘗親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉强可仕候間倍舊の御引立奉願候

原金旅館
京城南山町四丁目
（電話一一一五番）

京城梅毒病院
京城相生町（南門通横）
（電話一二九四）
◎花柳病專門並に痔注射療法
●入院隨意●
院長 醫學得業士 淳田 弁平

神戸資生分院
辯護士
特許辯理士
京城明治町二丁目（佛國教會前）
岩田仙宗
電話三五四番

特約販賣
大上商店
味噌醬油製造元
清物問屋
京城本町五丁目
（電話一二五一番）
自製合鹽物、和洋酒、麦酒、麦茶、鰹節、塩辛、日本酒、ビール、米糠、醤油、其他一切の商品切手賜はり次第御注文に應じ特約販賣に依り商品切手賜はり次第御注文に應じ特約販賣に依り商品切手賜はり次第御注文に應じ特約販賣に依り